

農村滞在型余暇活動機能整備計画書(案)に対するパブリックコメント募集結果について

募集期間 令和5年5月22日から令和5年6月12日まで（3週間）

意見総数 7件／1名

意見対応 ①意見を反映するもの又は既に反映しているもの 7件

②意見の一部を反映するもの 0件

③当該計画への反映はしないが、今後策定する実行計画等において参考とするもの 0件

④その他 0件

意見等の内容	分類	意見等の対応
2 ページ最上段に（農村地区の基盤整備が）「隣接する市街地に居住する住民の農業、農村に対する理解を深めるために果たす役割が大きい」とあるが、観光で潤うのは 5%の人で、95%の人は煩わしいと思うこともあり、良いものばかりが来るとは限らない。基本は人と人が交流することで、住民が幸せになることを目的として計画すべきである。	①	この計画は、安平町の自然環境を生かして地域外の方々との交流を促進させ、地域活性化をはかることを目的としていますが、前提として住民の誇り（シビックプライド）や地域の存続性を高めることを基軸に据えております。 町としましても、ご意見としていただいた視点を盛り込んだうえで作成しております。
2 ページの『イ 農業の現況』部分では、有機農業への言及がもれているのではないかと。当町の特色として欠かせないもので、かつ昨今、都市住民や外国人は有機農産物に絶大な意欲がある。今後ますますその傾向が強まるわけで、欠かしてはならない。	①	ご意見をふまえ、該当部分（2P『イ 農業の現況』）に有機農業の記載を追記いたします。
2 ページの『ウ 都市農村交流及び体験・観光施設等の現況』部分に「収穫体験や自然豊かな丘陵地を散策するプログラムなど」とあるが、他にもサイクリング、バードウォッチング、昆虫採集などに来ている人があることをもたさず、現況の中に入れるべきである。	①	ご意見をふまえ、該当部分（2P『ウ 都市農村交流及び体験・観光施設等の現況』）にサイクリング、バードウォッチング、昆虫採集の記載を追記いたします。

<p>3 ページの『〇体験・観光施設等の状況』では、前ページでは触れながら、フットパスウォークの例がもれている。観光協会主催のフットパスウォーク、JR ヘルシーウォーキングの実績があることを記述すべき。</p>	<p>①</p>	<p>ご意見をふまえ、該当部分（3P『〇体験・観光施設等の状況』）にフットパス、ウォーキング企画の記載を追記いたします。</p>
<p>3 ページの『(2)農村滞在型余暇活動に資するための機能の整備に関する方針』では、「都市住民に対して農業体験や収穫体験、生活体験や自然散策などの余暇活動の場を提供する」とあるが、今後の傾向として、食の安全性、食品ロス、循環型農業への関心がますます高まることは必然で、これらを考慮した先進的な学習施設や体験施設を計画すべきと考える。</p>	<p>①</p>	<p>ご意見をふまえ、該当部分（3P『(2)農村滞在型余暇活動に資するための機能の整備に関する方針』）に「<u>食の安全性、食品ロス、循環型農業等への関心が高まることが想定されるため、これらを念頭に置いた施設整備を検討していく。</u>」という記載を追記いたします。</p>
<p>3 ページの『(2)農村滞在型余暇活動に資するための機能の整備に関する方針』では、「自然環境の保全や美しい景観づくりに努め、農村滞在型余暇活動を行ううえで良好な農村景観の形成を図る」とあるが、実際の景観は廃屋、壊れた農業機械や廃棄物、太陽光パネル、林地の伐採、土砂の採掘など見苦しいばかりである。現状やむなしとしてしまうのは易しいが、素晴らしい景観を求めてくる人々を満足させるためには、他の地域に負けないような先進的な取組が必要であることを明記していただきたい</p>	<p>①</p>	<p>ご意見のとおり、先進的な事例を把握しながら進める視点は、町としても計画作成時に盛り込んでおります。 新エネルギーや林地開発など、地域内で行われる様々な産業や事業との調整を図りながら、良好な農村景観づくりに努めていく考えです。</p>
<p>3 ページの『4 農作業体験施設等の整備に関する事項』では、農業体験施設や農地はもとより、体験者の住む快適な住宅、シェアハウスなどの整備、さらに幅を広げて企業の景観の良いリモートワーク施設、ワーケーション、企業の宿泊型保健施設（健康管理や野外活動ができる）なども含めたものにするべきと思う。</p>	<p>①</p>	<p>ご意見をふまえ、該当部分（3P『4 農作業体験施設等の整備に関する事項』）の整備計画を記載している表に、<u>学習施設、シェアハウス、リモートワーク施設、宿泊型保健施設</u>を追記いたします。</p>